

令和5年度 西東京市立学校 学校経営計画

学校名	西東京市立谷戸小学校	校長名	伊藤 正 明
-----	------------	-----	--------

教育理念及び教育目標

子どもにやる気を持たせることを前提とし、人権尊重の精神及び子どもの権利を大切にすることを基盤として、めまぐるしく変化するこれからの社会に柔軟に対応、人と社会と自然環境等と協調しながら、生涯を通じて豊かに生きていくための資質・能力を育成するため、次の教育目標を設定する。

- ◎ 心の豊かな子 (人間関係調整力)
- すすんで学び、行動する子 (問題解決力)
- 元気で、ねばり強い子 (実行力)

学校の特徴

本校の特徴は以下である。

- 1 一人ひとりを大切にした教育及び特別支援教育の推進
 - 1学年の在籍 50～60名という状況を生かしたきめ細やかな教育
 - 特別支援教室拠点校として、より適切で効果的な支援の充実・推進
- 2 芝生の校庭や校内及び地域の豊かな自然を生かした活動・体力増進活動の充実
 - 校庭の松林、東大農場やいこいの森公園等を生かした活動
 - コーディネーショントレーニングの推進等、全校での体力増進活動の実施
- 3 コミュニティスクールとして、保護者・地域と連携した教育活動の充実
 - 地域人材や、地域の企業、公民館、商店等と連携した学習
 - 保護者による読み聞かせ、育成会の活動、近隣幼稚園・保育園との連携

目指す学校像 (学校像、児童・生徒像、教師像)

目指す学校像

子どもが生き生きと前向きに活動でき、保護者・地域から信頼される学校
～「学ぶ喜び」「伸びる喜び」「集う喜び」に溢れた学級・学校を目指して～

目指す児童像

- ◎ 自他の良さや違いを認め、規範意識をもち、人や社会のために力を発揮する子ども
- 自ら考え、豊かな言語活動を通して課題解決をしていく子ども
- 夢や目標に向かって、粘り強く取り組む子ども

目指す教師像

- 探究的・問題解決的な学習を実践し、子どもの自己解決力・学ぶ意欲の向上を図ることができる教師
- 不断の向上心をもち、前向きに工夫・改善を目指す教師
- 一人ひとりの子どもを大切にし、子どものわずかな変化を見落とさない教師
- 学校組織の一員として協力・協働して取り組む教師
- 使命感と誇りをもち、子ども・保護者・地域から信頼される教師

学校経営の目標

1 中期経営目標（中間的課題）

- (1) 学年・学級経営の一層の充実を図る。
 - 一人一人を大切に「心の教育」の推進と充実。
 - 「西東京あったか先生」の推進と充実。
- (2) 子どもにやる気をもたせ、分かる授業・よりよい授業の充実を目指し、子どもに成就感を味わわせ、学力の向上を図る。
 - 校内研修の充実を図るとともに、全教員が積極的に研究授業を行い、互いに切磋琢磨して授業力の向上を図る。
 - カリキュラムマネジメントを意識し、プログラミング的思考、主体的・対話的で深い学びの充実を目指し、持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(ESD)を通して、問題解決力の向上を図る。
- (3) 児童の生涯を支える健康で丈夫な心身を育てる。
（「健康」応援都市を支える次世代の人材育成）
 - 体力の向上と食育の推進
- (4) 谷戸小学校を取り巻く地域の中核を目指す
持続可能なコミュニティスクールとしての取組の充実。

2 短期経営目標（1に基づく本年度の重点目標）

- (1) 「西東京あったか先生」及び心の教育の推進及び充実。
- (2) 主体的・対話的で深い学びを充実させ、思考力・判断力・表現力の育成。
- (3) 健康教育（体育、食育、保健、安全教育）の推進及び充実。
- (4) 持続可能なコミュニティスクールとしての取組の充実。

具体的方策（短期経営目標を達成するための学校の具体的な取組）

- (1) レジリエンスを培うことを意識して、心の教育の充実を図る。
 - いじめをしない、させない集団づくりとともに、自分も他の人も大切に、一人ひとりを大切に学級経営を進める。
 - 場面に応じリフレーミングを行うことや一人一人の「好き」や「得意」を大切に、充実させることを通して、レジリエンスを育成するとともに、前向きな思考を育成する。
 - 人権意識や人権感覚の向上や一人一人を大切に丁寧な指導、よくない行動は、心を込めて冷静に指導し、「次はがんばろうというやる気」をもたせること等により、「西東京あったか先生」を目指す。
- (2) 「やる気」(学習意欲の喚起)を前提として、基礎・基本の充実のもと、主体的・対話的で深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
 - 「学習ルールの基礎・基本」の共通実践を通して充実を図る。
 - 教科等横断的な視点に立ち、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
 - 各教科、総合的な学習の時間、生活科を中心として主体的・対話的で深い学びを実現する。
- (3) 体育・健康教育の充実を図る。
 - 体育授業の充実により体力の向上を図る。コオ-ディネーショントレーニングへの取組を充実させる。
 - 毎日の給食、給食の通信、食育クイズ、おにぎり学校公開等を通して食育を推進する。
 - 「自分の身は自分で守ること」「心に備えること」を基本とし、多様な避難訓練、生活・交通安全教育等を通して安全教育を推進する。
- (4) コミュニティスクールとして顔が見えるつながりを大切に取組の推進
 - 地域の方を招聘した授業等の充実
 - 地域の企業・大学等と連携した学習の充実
 - 児童・保護者・地域・教職員の顔が見える活動を意識した取り組みの充実